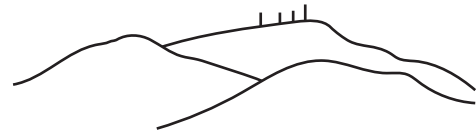


Youth Manna

2019/4/8 - 4/14



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2019/4/8(月)

Ⅰ サムエル 6 章

主の箱は、人の手によらず、不思議な方法でイスラエルに戻ってきました！ベテ・シメシュの街の人たちは喜んだけど、神様の言いつけを守らず勝手に箱の中を見たので、多くの人が主に打たれて死んでしまったんだ。

僕らはイエス様の十字架によって罪を赦されて、神様の子どもとして自由に神様に近づくことができる。だけど、神様の命令や聖書の言葉をいい加減に理解していたり、適当に扱っていることはないかな？今一度、神様が僕らに何を命じておられるのか、何を願っておられるのかを思い出そう！聖書をよく読んで、はっきりと神様に従っていきましょう！！

2019/4/9(火)

Ⅰ サムエル 7 章

この章では、サムエルがイスラエルを導いて主の言葉を伝え続けたので、イスラエルは神様を慕い求め、そして神様を慕い求めたからこそイスラエルの敵であるペリシテ人に奇跡的な方法で勝ったと書かれているよ。私達もどのようにこの勝利ある信仰生活を送れるのか秘訣を考えてみよう！！まず①偶像を取り除いた(3) 神様よりも大切になっているものを捨てるのが大切だよ②自分に罪があると認めた(6) 自分には罪があるからこそ神様が必要だと分かるのが大切だよ！③神様を求め礼拝すること(8.9) 神様を一番にして生きることこそ信仰生活の鍵だね！！きみの信仰生活がより豊かになるために、この3つの秘訣から必要だと思われたこと祈ってみよう！！

2019/4/10(水)

Ⅰ サムエル 8 章

イスラエルの長老たちは、王をたてるようにサムエルに願った。それは、これまで彼らを治めてきたサムエルと、その上にたつ主を拒むことだった。長老たちは、王制を導入することによって、ものごとが良い方向に変わると考えた。しかし、それは人の考えであって、神様のころころではなかった。サムエルは王の権力を宣言したけれど、それでも民は王制導入を願ったので、主はその願いをも許容された。

一番良いことをしてくださる神様のころころを求めます。神様のころころが何か、よくわかるように助けてください。

2019/4/11(木)

Ⅰ サムエル 9 章

今日の箇所からは、イスラエルの初代王となったサウルが出てくる。サウルは、迷い出たロバを捜すために山路に行くが見当たらず、あきらめて帰ろうとすると、同伴のしもべが「この近くに先見者サムエルが住んでいるから訪ねてみよう」と提案した。タイミングが良いだけでなく、サムエル自身も、サウルという男がたずねてくることを神様から聞いていたので、食事を用意して「待ってました」とばかりに出迎えた。

こうしてサウルとサムエルは出会った。人の目には、ロバがいなくなったのは偶然で、しもべが「先見者をたずねよう」といったのは思いつきである。しかし、どんなことにも偶然はなく、すべては神の御手の中にある！神様に信頼して今日の1日も歩んでいきましょう！！

2019/4/12(金)

Ⅰ サムエル 10 章

サムエルは神様の命令に従ってサウルを王として立てました。サウルが王となっていく事から私達が神様の為に働く時にどんな事が必要かが分かります。王になる前にサウルには神様からのしるしや、想いが与えられました。それはサウルが自分が王となる神様からの与えられた役目に確信を持つ為のものです。

「もしかしたら間違ってるかもしれない」と思いながら神様に従うのは苦しい事ですね！また、神様に従う喜びがないのに従うのも難しいです！神様に自分が生涯行う働きがどんなものかを祈って聞こう！愛が分かるように祈ろう！

2019/4/13(土)

Ⅰ サムエル 11 章

サウルが王様に選ばれた頃に、ヤベシュ・ギルアデという町がナハシュに攻められ町の人々は、降伏の条件で右目を取ることを突きつけられた。そのことに助けが来ると思っていた人も、助けようとする人もいないほど悲惨なことだったね。

でも、そこにサウルが出てくる。神様の霊が激しく下り、怒り、人々を集めて、絶望的な状況に勝利するんだ。サウルは「今日、主がイスラエルにおいて勝利をもたらししてくださった」と人々に語った。

日々の中で、助けを求めている友だちや家族はいないかな？そんな時、どうしたらよいか神様の心に耳を傾けよう。そして、神様がしなさいと言っていることを実際にしよう！

2019/4/14(日)

Ⅰ サムエル 12 章

王政が始まったイスラエルの民が忘れてはならないこととして、神様が王を立ててくださったこと、王も民も主なる神様の声に聞き従うようにとサムエルは伝えました。それは、主なる神様が真の王であること、いつも神様を一番にして歩むことをイスラエルの民が心に刻むためでした。

私達も毎日の生活の中で大切にしなければいけないこと、自分がやりたいことや優先したい好きなことが多くあると思います。その中で、私たちは一番大切なことを一番大切に、心の真ん中に、生活の中心にしているでしょうか。

心の王座に座るべき方は、一人しかいません。真の王であるイエス様を心の王座にお迎えしますと宣言して一日を始めよう！